

トップニュース



龍谷大大学院 実践真宗学

都市開教寺院で法話実習

宗門校の龍谷大大学院実践真宗学研究所(京都市下京区)の学生が先週、首都圏の都市開教寺院で法話実習を行った。実習は約30人の大学院生が数人ずつに分かれ、希望する場所で行う同研究所の主要科目の1つ。築地本願寺の紹介を受けて首都圏の開教寺院で行うのは5年ぶり。

実習は川崎市多摩区の慶念寺(小林賢五住職・元川崎多摩布教所)、千葉県市原市の市原辰巳台布教所至安寺(川上真隆専任員)で行われ、3年生の佐々木太成さんが法話した(写真)。門信徒の前では初めてという佐々木さんの法話に、同研究所の先輩にあたる小林住職は「しっかり研鑽している様子が伝わってきた。浄土真宗のみ教をどう伝えるのかを非常によく研究されている」と感想を述べた。また、至安寺では「話し方が上手で聞きやすかった」「人柄が伝わってきた。やさしい方だなとありがたく聞かせていただいた」と門徒からの声。

佐々木さんは「緊張したので練習通りにはいかなかったが、ご門徒が温かい目で見てくださったのが伝わってきた」と話す。

実習には、藤田真貴さん(2年)、菊川尚徳さん(1年)も同行。藤田さんは「都

来年3月7日に本山成人式 申し込み受付中 2月6日が締め切り

成人をお祝いするとともに、浄土真宗のみ教えに出遇うご縁にと、本山・御影堂で第74回本山成人式が来年3月7日に開催される。日程は次の通り。

9時20分 受付開始
10時20分 オリエンテーション
10時35分 記念撮影
11時00分 式典
11時30分 記念講演(作家・岸田奈美さん)
12時00分 終了(解散)
13時30分 帰敬式(希望者のみ)

参加対象は、2025年度中に18歳を迎える新成人(これまで本山成人式を受けていない20歳まで参加可)。参加費は無料。帰敬式受式希望者は負担金3000円が必要。申込締め切りは来年2月6日。右の二次元コードから申し込む。問い合わせは本山・教化部「本山成人式」係。☎075(371)5181。



築地本願寺がサポート

市開教寺院に初めて入った。外観が一般的な家の形ではお寺という感じが新鮮だった。法話会の雰囲気も自坊とは全く違い、貴重な経験になった」と語る。

引率した葛野洋明教授は「都市開教寺院には『お寺ができてよかった』という思いがあふれており、その熱量は圧倒的。喜んでお聴聞してくださる門徒の存在が大きい。都市開教の0から1を生むような活動を、知ること、院生の意欲も上がり、『自坊でもできることがある』と気づくだろう。築地本願寺や都市開教寺院を訪ね、僧侶や門徒に会う経験は大きな力になる。継続的に続けたい」と。

実践真宗学の法話実習に協力した築地本願寺伝道企画部の安達泰教部長は「首都圏への人口流入は再び増加傾向にある。多くの人が、み教えに触れていただく環境を整えるため、築地本願寺では新たな寺院を創出する都市開教を推進している。詳しくは伝道企画部「開教推進担当」☎03(6541)1131(代)表。

都市開教専従員を募集中

『この経験が学生の大きな力に』

本願寺新報

hongwanji journal

9月10日(水曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

御開明社々
京法衣事業協同組合加盟

satsumaya
KYOTO

株式会社 さつま屋法水店
〒600-8334 京都市下京区堀川通六条下ル
TEL 075-351-1548(代) FAX 075-351-1008
☎0120-310-063
https://satsumaya.kyoto

今号の紙面

高校生が本山でSDGs学ぶ…8



みんなの法話……………4
学ぶ親鸞聖人 ご生涯×教え…5
お釈迦さまの前世物語……………3
季節の養生と薬膳……………3
本願寺インスタ倶楽部……………3
読者のひろば(詰将棋)……………7



今夏も猛暑が続く、9月に入ってから連日の熱中症警戒アラートにうんざりさせられる。先日、中学生の息子が部活中に熱中症となり、顧問の先生車で送ってもらったこともあり、あらためて他人事ではないのだと感じた。

▼「暑さ寒さも彼岸まで」というが、気候変動で今年もまだまだ暑いのだろう。だが、不思議なことに、彼岸花は時期が来ると咲いている。昨年のことだが、本山のブックセンターで、月刊誌「大乘」の表紙写真を手し、「白い彼岸花はどこに咲いていますか?」と尋ねられた。白い品種があること自体、初めて知ったのだが、境内のいちょうの木の下で、赤い花と共に咲いていた。境内を歩く時、イチヨウの木は見えていても、その下にある彼岸花の色を認識していなかったのである。

▼ある先生の「同じ話を聞いても、同じように聞こえているとはかぎらない」という話が思い出された。法話で『南無阿彌陀仏』は、『我にまかせよ、必ず救う』という阿彌陀さまのお喚び声である。お念仏のすがたとなって、現れ出てくださいるのである」と聞かせていただくが、自分勝手な私に、どれだけ同じように聞こえているのだろうか。

▼太陽が真西に沈むことを縁に、阿彌陀さまの西方浄土を想わせていただくお彼岸をまもなく迎える。あらためて、阿彌陀さまの願いを、決して他人事ではなく、わがこととして素直に受け容れ、「ありがとうございます」とお念仏申す機縁としたい。

購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話
宗務所 075(371)5181 / 大谷本願 075(531)4171

宗派公式Webサイト https://www.hongwanji.or.jp
本願寺ホームページ https://www.hongwanji.kyoto

ロングセラー書籍! 仏教が楽しくなる本!

くらしの仏教語豆事典

〈上巻〉276頁/〈下巻〉240頁/文庫判 各 1,100円(税込)

文 辻本 敬順 絵 寄藤 文平

私たちのくらしの中に溶け込んで
日常語の元をたどれば、あれも、これも、
仏教語だった!!

いままで知らなかった、ことばの「ほんとう」の意味をわかりやすく解説した全225話。日本のくらしと仏教がいかに関連深いかわかります!

本願寺出版社 ☎0120-464-583 ☎075-341-7753
〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺) https://hongwanji-shuppan.com/

送料梱包手数料別
(税込3,000円以上は無料)



旬の味覚にひとひらそえて。

京ゆば
湯葉
弥

京・五条御前東 電話075-311-5788
http://www.yubaya.co.jp

修理などについても
お問い合わせ下さい

創業元禄初年

大 笹 屋

京都市左京区聖護院蓮華蔵町3-6

TEL 075-751-6889

FAX 075-751-7304

E-mail:m@ozasaya.com

雅楽用打ち物・経切太鼓
その他宗教用太鼓一式製造元

施設管理は、
オリックスファシリティーズ株式会社

本店 〒600-8385
京都市下京区大宮通仏光寺下五坊大宮町9-9
TEL 075-8411-7550(代表)
FAX 075-8411-7666



〒600-8349
京都市下京区堀川通西本願寺前
電話075-3371-0162

加羅・沈香・線香・匂い袋
香老舗 創業文禄三年(1594年)
董玉堂